

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあい静岡インター校		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名 (世帯数32)	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人個別に支援を行うことができるため、その都度、ご本人や保護者の方のニーズに合わせたプログラムを組むことができる。	1人1人、毎回同じ内容になることが無いように、前回の内容、様子等を踏まえながらプログラムを作成するだけでなく、職員間での連携も密に取り合い、複数の指導員で1人のお子さんの支援に関わることができています。	事業所内だけでなく、地域内の系列事業所との連携も密に図っていくことで、より多面的に、ご本人のニーズを捉え、アプローチができるようにしていきたいと思います。
2	運営規定や支援プログラム、内容について、丁寧に説明を行い、理解を得た上で、運営がされていること。	入所時の運営規定等に関する説明、支援開始時のお子さんへのプログラムの説明、支援終了時のフィードバックの強化など、1つ1つを丁寧に説明することを意識しています。	こちらからの一方的なアプローチになってしまわぬように、今後もアセスメントやモニタリング等、ニーズの把握を意識し、より利用者さんに寄り添った運営をしていきたいと思えます。
3	事業所内の様子について適切に情報発信がされている。	HP内のブログやSNS等を活用しながら、事業所での様子や、今後のイベント計画等の情報を発信しており、日常生活の中では中々触れることのできないお子さんの様子に触れることができるようになっていきます。	イベントを積極的に計画したり、地域との交流をできるような機会等を作っていくなど、より発信する情報を拡充し、色々なお子さんの様子を見られるようにしていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域内の事業所外の子ども達との交流を持つ機会が少ないこと。	地域の企業と連携を持ちながら、イベントの企画等を行っているものの、当事業所から少し離れた位置が開催地になることが多く、中々参加を出来ない方が多く居られることが要因として挙げられます。	当事業所が主体となり、より地域に密着したようなイベントを開催したり、頻度を増やす、何回かに分けて開催をするなどの取り組みを行うことで、改善をしていきたいと思えます。
2	父母会や保護者会などの開催について参加できる機会が少ないこと。	上記内容と関連して、イベントなどに際して保護者会などを開催することが多く、結果として参加者が限られてしまっているような状況が窺えます。	上記と同様、イベント等の頻度を増やすことも1つとして考えつつ、保護者のニーズの聞き取りを行い、需要が高いことが窺えた際には、実際に開催することも検討していきたいと思えます。
3	事業所内の安全管理について、周知が不十分であること。	マニュアルの策定や掲示、避難訓練、安全計画チェックリストの実施、ヒヤリハットへの感度を高める等、安全管理や防災に関する準備の徹底はしているものの、それらの周知がまだ不十分であることが窺えます。	マニュアル等の掲示位置の変更、HPやSNS等を用いながら、安全管理等に関する活動の発信の強化等を行っていく中で、当事業所として取り組んでいることを知ってもらえる機会を増やしていきたいと思えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいあい静岡インター校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

37名(世帯数 32)

回収数

12名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・個別で活動を行う部屋と集団で活動が行える広いスペースの双方を用意させていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	1	・特に問題無さそうです。	・各日の利用人数に合わせた職員配置を心がけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	4	0	0	・特に問題無さそうです。	・より利用しやすい空間を提供できますように、色々なご意見を取り入れていきたいと思っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・毎朝の清掃、支援後の消毒など、清潔感、感染予防の両面を意識した対応をしております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	1	0	・特に問題無さそうです。	・保育士、心理担当職員など、各分野の専門的知識を有した指導員さんが支援にあたっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・適宜、保護者の方のニーズを捉えつつ、プログラムの内容について吟味していきたいと思っております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11	1	0	0	・特に問題無さそうです。	・モニタリング会議から原案、本計画作成の流れに沿いつつ、保護者の方のニーズを取り入れることを意識しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・支援後のフィードバック、学校との連携など、保護者の方やご本人のニーズに沿って、支援内容の設定を行っております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	2	1	0	・特に問題無さそうです。	・指導員との連携を図りながら、支援計画に沿った支援を行うことを心がけています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	4	0	2	・特に問題無さそうです。	・適宜、児発管、指導員間でのプログラムの内容について話し合いを持ち、固定化しないよう心がけています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	6	3	・特に問題無さそうです。	・地域内企業との共同イベントの開催などを計画していく中で、地域の方々と交流する機会を作っていければと思います。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	・特に問題無さそうです。	・入所時に時間を設け、それぞれの内容について、誠心誠意説明をさせていただいております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	・特に問題無さそうです。	・入所時及び更新のタイミングで、目標の説明及び今後の支援方針の説明を行わせていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	1	2	・特に問題無さそうです。	・同法人の他事業所と協力をしながら、企画及び情報提供を行わせていただいております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11	1	0	0	・特に問題無さそうです。	・支援後のフィードバックの際に、相互にお子さんの様子を確認するような時間を設けております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	1	1	・特に問題無さそうです。	・適宜、ご相談等を承りつつ、必要に応じて、助言等も行わせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	1	0	・特に問題無さそうです。	・ご本人や保護者の方のニーズに合わせて、思いを共感しながら、支援を行わせていただくことを心がけています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	2	3	・特に問題無さそうです。	・他事業所との合同イベントに際して、保護者会等の実施を行っています。 ・きょうだい支援についても、ご本人が活動を行っている際に、並行して行わせていただく場面もあります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・入所時の説明で、相談等の受付窓口がある旨お伝えしております。その上で、申し出があった際には、可能な限りに迅速に対応をさせていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・ごちからの情報発信が一方通行になってしまわぬように、相互の意思疎通ができるよう心がけています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	1	・通知が多い。	・貴重なご意見をありがとうございます。多岐に渡る情報発信をさせて頂く中で、利用者さんの方で情報の選択ができる方法を検討していきたいと思えます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1	0	0	・特に問題無さそうです。	・個人情報が含まれる資料は鍵付きの棚にしまうなど、意識して取り扱っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	2	・特に問題無さそうです。	・各種マニュアルの作成がされており、保護者の方が手に取れる位置に掲示もしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	2	・特に問題無さそうです。	・毎月、テーマに沿って、訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	1	・特に問題無さそうです。	・安全計画の策定掲示及びチェックリストに沿った点検を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	0	2	・特に問題無さそうです。	・事故やヒヤリハット発生時には速やかに報告させていただいたと共に、職員間でも情報の共有をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	・特に問題無さそうです。	・いつでも笑顔で迎え入れさせていただくなど、今後も安心感を持って通所できるような体制を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2	0	0	・特に問題無さそうです。	・1回1回の支援を大切に、今後も楽しみに思ってもらえるような事業所を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	・児のやる気に左右される面はあると思うが、なるべく学習支援を進めてほしい。	・貴重なご意見をありがとうございます。おっしゃってくださいますように、まずは、ご本人が学習を行うことを楽しい、やりたいたいと思えるようになることを念頭に、活動の中で、「できた」と思える経験を増やせるようなプログラムを指導員と一緒に考えていきたいと思えます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あいあい静岡インター校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・常に3人以上の指導員が支援を出来る体制を整えており、適切に配置されています。	・お子さんの様子に合わせて、より適切に指導員を配置していくための、1時間の内の利用人数とのバランスは常に意識していきたいと思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・機の配置等を、利用者さんの特性や部屋の大きさに合わせて、変えることを意識しています。	・駐車場から入口までの間の段差を無くすなど、まだ改善できる箇所はあると思うので、それらについてどのように工夫できるかを考えていきたいと思っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・支援前後の消毒を徹底しつつ、より隅々まで意識できるように、掃除場所の割り振りを行うなどの工夫をしています。	・利用者さんの入れ替わりが多い時間帯の消毒作業の連携にあわせているため、より連携を取りやすいシステムを考えていきたいと思っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個別での支援を行うための部屋等が3部屋以上確保されています。	よりお子さんの様子に合わせた部屋選びには、研究の余地があると思われるので、今後も行っていきたいと思っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・指導員間で、目標の設定、仕事の進め方等のチェックをし合えるような体制も整っています。	・他事業所での取り組みについて交流しながら学んでいくような機会を、より設けていきたいと思っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1度、保護者向けに評価表の記入をお願いしており、その内容について、指導員間で共有、即座の対応を心がけています。	・すぐに改善が難しい課題もあるため、それらの実現をよりスピードアップしつつ、より実感を持っていただけるようにしていきたいと思っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・通常の勤務時間の中で、職員同士の交流が自然に行われており、意見交換もできています。	・職員の異動等が適宜行われる中でも、交流が行いやすい環境整備を心がけていきたいと思っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・グループ内他事業所との交流の中で、教室運営についてのアドバイスをいただき、それらをすぐに実行していくよう、意識しております。	・より多くの事業所との交流を図っていく中で、更に教室運営業務の改善をしていきたいと思っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法廷研修等、法人内で毎月研修が行われており、それらに積極的に参加することができています。	・年度替わりに新しくいらっしゃった職員さんの研修参加に関するサポートをより強化していければと思います。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・1人1人に合わせた、支援プログラムを毎回作成しております。	・支援プログラムの公表については、現在、法人単位で準備を進めており、年度に行います。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者のニーズをしっかりと聞いた上で、児の様子にあった目標を設定し、計画を作成しています。	・より計画の実効性を高めていけるよう、今後も、児発管と指導員との連携を深めていければと思います。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・普段の活動の様子等について、児発管と指導員の間で、常に状況共有及び共通理解が図れるように努力しています。	・常にニーズは変化していくものだと思いますので、今後も情報共有を継続していくことを大切にしたいと思います。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・常に指導員が確認できる場所に保管されており、毎回の支援プログラム作成の際に、確認しております。	・放課後等デイサービス計画の目標の中で、今もっともニーズが高まっている事柄がどれであるかを、今後も意見交換していきたいと思っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・法人単位で作成されたアセスメントツールを用いており、ご家庭での様子等も確認できるようにしている。	・より事業所単位で特化したツールにいくために、内容の精査を行っていききたいと思います。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・利用者の状況に合わせた支援計画を練ることを意識しています。	・今年度より新設された5領域の部分について、指導員と一緒に、より内容の精査を図っていきたくと思っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・指導員間で情報の共有を行いながら、プログラムの立案を行っています。	・情報の共有がよりしやすくなるような環境作りをしていけるようにと思っています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・担当者ごとに着眼点を変えつつ、前回の内容となるべく被らないよう、支援ニーズに合わせた内容を考えている。	・担当者が変わった際の引継ぎについて、今後ともまめにかつ着実にできるようにしていきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・利用者からの希望やこちらのニーズ把握に合わせて、適宜、個別、集団両方に関する目標、支援を取り入れています。	・時間帯によって、集団ニーズに合わせられないこともあるため、その辺りをよりニーズに合わせた調整ができるようにしていきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・支援開始前だけでなく、社内ツール等で状況の確認引継ぎを行えるようにしています。	・当日の追加で入った方にも適切な療育を提供できるよう、日ごろからの引継ぎを今後も大切にしていきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・支援終了時だけでなく、必要に応じて、担当者の話を全員で聞いたり、それについての意見を述べられる場を設けております。	・営業時間終了時にかかる支援内容の引継ぎについて、よりスムーズに行えるような仕組みを考えていきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・日々の記録について、即日に書くことを全員心がけており、次の支援に入る担当者が見れる状況作っております。	・記録の閲覧だけでなく、大事なポイントは直接話を聞けるような仕組みを継続していきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定められた期間内のモニタリングを行っていると共に、中心となっている指導員とやり取りしながら作成を行うことも心がけています。	・中心となる指導員だけでなく、事業所全体での周知を図れるように、今後も適切な仕組みを精査していきたいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・1つの活動に偏ることが無いようなプログラムの設定を行い、毎回の内容の見直しも行っていきます。	・今後も、ガイドラインの内容について職員の中で研修を行い、プログラム作成時に意識できるようにしていきたいと思います。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・プログラムの中でも、ご本人が意思が反映されるような場面をしっかりと設け、自己選択及び自己決定力を高めることに寄与しています。	・今後も、支援内外の場面で、ご本人が自己選択、決定ができていけると感じられるような場面を増やしていきたいと思います。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・該当の利用者との関わりが深い指導員が参加をするようにしております。	・参加していない職員に対しても、回覧等で情報の共有を行っていますが、より密に内容を共有できる方法を考えていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・地域内他企業との連携だけでなく、協力医療機関との連携にも力を入れており、適宜、協力しながら支援を行えるような体制を整えています。	・保育、教育等の関係機関等との連携も行っていきますが、より連携が取れる体制を整えていきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・地域の学校の情報について確認及び必要に応じた共有を行いながら、連絡調整もできる体制を整えております。	・より密な連携を取ることができるような体制を整えていけるよう、積極的に協議をしていきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・児発から放デイに継続して通っている児を中心に情報の共有等を行える体制を整えています。	・他事業所との交流についても強化していきます、より包括的にサポートができるようにしていきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・系列事業所を中心に情報が提供できる体制を整えております。	・系列事業所だけでなく、他事業所との連携も強化できるよう、よう有益な情報をまとめられるようにしていきたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・定期的に研修等を受けるような機会を設けており、その中で必要に応じて助言を受けております。	・研修等の場面だけでなく、その他場面においても、連携を図っていくように、今後も関係性を構築していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・必要に応じて、地域施設への見学等を計画しており、情報の共有等も行えるようになっていきます。	・実際に子供たち同士が交流を出来るようなイベントの実施に向けて、計画をすすめていきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・協議会等からの連絡に目を通して、地域内校舎の状況に合わせて、連携を図っています。	・より具体的に参加できる体制ができるよう、連絡等の把握をしていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・支援の終わりに必ずフィードバックの時間を設けており、その際、ご家庭等での様子についても共通理解を行っております。	・各お子さんの状況について、職員間でも情報の共有を行っていますが、より密な情報の共有ができるような方法を確立していきたいと思っています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・静岡市内の校舎で協力をし、ペアレント・トレーニングを受けられるような機会を定期的に提供しております。	・ペアレントトレーニングだけでなく、様々な種別の講義等を行えるような機会を検討していきたいと思っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時の説明を持って、行わせていただいております。	・よりわかりやすく内容を説明できますように、精進していきたいと思っています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・アセスメントやモニタリング等を通して、保護者やお子さんの意向を把握し、それらを各目標に反映させることを意識しております。	・決まった時期だけでなく、適宜、ご意向に耳が傾けられるよう、家族連携等の強化を図ってまいりたいと思っています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・1つ1つの目標について、丁寧に説明を行っていただいております、変更を希望される点等はないかについても確認をしています。	・保護者の方の理解得た上で、計画が運営できるように、今後も丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者からの希望に応じて、適宜、お話をうかがう機会を設けており、事業所での様子等を交えながら助言等させて頂いております。	・保護者の方の様子等に応じて、こちらからお声かけするような機会も増やしていき、より連携を深めることができればと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・イベントに際して、保護者会を実施させていただきなど、適宜交流が出来るような機会を設けております。	・きょうだいの交流については、運動やおたのしみの時間等で設けており、指導員も入りながら、積極的な交流を持てるように支援をしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・窓口を明示しており、申入れがあった際には、できる限り迅速に対応をさせて頂いております。	・今後も、お子さん、保護者の方ともに、ご要望を受け入れることができる旨、オープンにし、より相談しやすい体制を整えていきたいと思っております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・HPやSNS等を通して、活動の概要や行事の前後の様子等を報告しており、保護者の方が触れやすいようになっております。	・今後も、個人情報等に気をつけつつ、当事業所の活動について発信していけたらと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報が含まれるファイルを保管している棚には鍵をかけるなど、取扱いに十分留意をしています。	・個人情報を取り扱う場面は多岐に渡ると思われれますので、今後も些細な場面でも意識できるようにしていきたいと思っております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・それぞれのお子さんの特性に合わせて、ご本人のコミュニケーションの取り方を工夫するだけでなく、保護者の方にもよりこちらの意図が伝わりやすいように指導しています。	・より多くのお子さん適切に意思疎通ができるよう、研修等を行うことで幅をひろげていきたいと思っております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・当地域や他地域を交えながらイベントを開催させて頂いており、広い範囲で地域に密着しながら活動を運営を行っています。	・より多岐に渡って、地域の方と交流ができるよう、色々なイベント等を企画、運営していきたいと思っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルの策定がされており、職員への回覧、家族方が見やすい位置への掲示、毎月の訓練も実施されています。	・より当事業所に合った適切なマニュアルの策定、訓練等ができるように、定期的な見直しを行いたいと思っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPの策定がされており、それらを職員にも意識してもらいつつ、毎月の訓練を行っています。	・BCPについて、保護者の方にもより丁寧にお伝えすることで、安心して通所して頂けるように努めていきたいと思っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・入所時及び毎年の更新で確認をしており、職員にも周知を行っています。	・今後も、定期的なタイミングだけでなく、適宜、最新の情報を確認することで、対応していきたいと思っております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・当事業所では食事の提供を行っていませんが、アレルギーの確認はしております。	・今後の可能性も含め、適宜、確認することは継続していきたいと思っております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画の作成及びチェックリストに沿った確認を行った上で、支援を行っています。	・今後も、定期的に内容の見直しを行っていくことで、より現在の状況に適した安全管理を意識していきたいと思っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全計画を保護者の方の手に取りやすい位置に掲示し、最新のものをお伝えできるようにしています。	・より適切に取り組み内容をしていただけるよう、SNS等も通しながら周知していきたいと思っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・些細な事柄であっても、感度を高めてヒヤリハットを作成し、再発防止に向けた話し合いを行っています。	・再発防止だけでなく、より応用的に考えられる事柄は無いのか、話し合いの内容を強化していきたいと思っております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・会社単位、地域単位で、それぞれ研修が行われており、常に適切な対応方法を知る事ができるよう努めております。	・知識として身につけるだけでなく、実際の場面でも意識できるよう、今後も指導員同士の声かけを意識していきたいと思っております。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・利用者さんへの説明、個別支援計画への記載を行った上で、実際に行う場面が無いよう、事前のケアを意識しています。	・今後も、事前のケアをしっかりと行いつつ、実際に行うことになった際の知識もより深めていきたいと思っております。	